

会 議 録

1 会議名

平成 30 年度第 4 回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 平成 30 年度地域活動支援事業について（公開）

① 委員同士による意見交換

3 開催日時

平成 30 年 6 月 6 日（水）午後 6 時 30 分から午後 8 時 25 分まで

4 開催場所

上越市市民プラザ 第 4 会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委 員：池杉清子、今井 孝、大竹明德（副会長）、金子隆一、渋谷 俊（副会長）
田沢 浩、谷 健一、新野武宣、野澤武憲、藤田晴子、星野 剛、松田光代
吉田幸造（会長）、吉田 実、鷲澤和省（欠席 5 人）

・事務局：中部まちづくりセンター 本間センター長、野口係長、田中主事

8 発言の内容（要旨）

【野口係長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、成立を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【吉田会長】

- ・会議録の確認：田沢委員に依頼
議題「(1) 平成 30 年度地域活動支援事業について」の「①委員同士による意見交換」に入る。今年度は 2 人のアンカーから再質問を行ってもらい、意見が深まった。

これから行う意見交換や、今後の各々の採点に役立ててほしい。

今日の意見交換の進め方は、全体会のみで行い、提案番号順に1事業当たり10分を限度に行う。提案団体が18団体のため、フルに話し合いを行えば3時間程度となるが、協議時間は2時間程度を予定している。このように進めてよいか。

（「よし」の声）

では、時間の管理は、事務局により9分になったら予鈴を鳴らし、10分に達したら終了のベルを鳴らしてもらおう。なお、ここでの発言は最終的な自己採点に生かすためのものなので、まとめる必要はないことを改めて確認しておく。発言は挙手の上、指名されてから発言をお願いします。また、発言が特定の委員に偏らないように、調整させていただくことも予め了解いただきたい。では、提案番号順に意見交換を進めていく。

「春-1 高齢者の健康づくり活動（まちづくり）と地域交流事業」について意見を求める。

【金子委員】

先日のプレゼンテーションを聞いて、全く問題ないと思う。

【吉田会長】

他に意見はあるか。

（発言なし）

次に「春-2 春日野いきいきサロン事業」について意見を求める。

（発言なし）

次に「春-3 木田新田町内活性化事業」について意見を求める。

【星野委員】

質問を整理した第2回の地域協議会を欠席したのだが、町内会の備品購入について、他の町内会の住民より「地域活動支援事業費で購入してもらえる前例を作ってしまうと、自分の町内でも購入して良いのか」との質問を受けた。今後の話だが、町内会の備品購入等については地域活動支援事業費補助金の使い方を検討していく必要がある。歯止めが利かなくなり、他の町内会でも「何某町内会が買って貰ったから自分の町内会でも貰えるのではないか」となってしまう、今後は何かしらの基準がないと困るのではないか。

【大竹副会長】

以前に大学前町内会からも町内会備品購入の提案があり、地域協議会で協議した。その際、町内会で備品を揃えるのが筋ではないかとの意見でまとまった。今回もそれ

を基準に判断し、採点してはどうか。

【吉田会長】

今ほどの大竹副会長の意見にもあるように、以前は町内会で備品を揃える意見でま
とまっていることを踏まえながら、各委員が採点に活かしていけば良いのではないか。

【田沢委員】

町内会備品を購入し、その後に購入備品を使用しての活動に関しては、線引きが難
しく、各委員によるニュアンスで採点するのは困難であるため、今後の整理すべき課
題だと思う。

【吉田会長】

他の事業提案でも、例えば、グローブ・ボール等の備品購入等が関連してくると考
える。そのため、線引きが非常に難しく、今すぐ決められることでもないため、今回
は各委員が採点で判断するとしてはどうか。

【鷺澤委員】

現時点ではそれしかない。以前、50インチテレビや椅子を地域活動支援事業で購入
した前例がある。それは町内会備品や町内会館備品ではなく、老人会、敬老会の活動
に必要なとの提案内容から検討した結果、採択された経緯がある。名目は色々だが、地
域活動支援事業の中で、活動を伴わない備品購入、整備、修繕のみを目的とするもの
はダメだと明記されている。先ほど吉田会長が発言したように、今後、議論して判断
していけば良いのではないか。一概にダメとはなかなか言えないと思う。

【田沢委員】

その場で共有していく、と言うことで良いか。

【鷺澤委員】

そうである。

【谷委員】

木田新田町内会では、小さな町内会で、通常よりも高い町内会費を徴収している中
での提案であり、何かきっかけがないとできないし、頑張っているというところは評
価したい。

【吉田会長】

他に意見はあるか。

(発言なし)

次に「春-4 ジュニアバレーボールの普及及び青少年健全育成事業」について意見を求める。

【今井委員】

プレゼンテーションを聞いての感想・意見であるが、この団体は、遠方への移動が多いとのことだ。備品購入と同じく移動費は地域活動支援事業としてどうなのかとの観点から質問に至った。その際の発見として、強くなると誘いがかかり、より多く遠征に出ることになるとの回答があり、質問した意味があったと感じた。一概に足代はダメとは言い切れない部分があることを感じ、広い視野と考え方が必要と感じた。実際、断る遠征も多いとの回答もあったため、チームが強くなることは地域の活動としては良いことでもあり、意味のある質問であったと感じている。

【金子委員】

同じように地域で活動している団体にはサッカー少年団もあり、100名近い会員がいるのだが、サッカー少年団からは、ボールを買ってほしい、遠征費を出してほしい等の要望がない。つまり、大きな団体になるとチーム内で運営することが出来ているが、ジュニアバレーボールのように20名程度の小さな団体では、チーム内で運営することが難しく、活動するために費用が必要となってくる。強くなると色々な誘いがかかる、また呼ばれたら逆に呼ばなければならないとなるのだが、子供には大変に良い経験になっていると思う。

【田沢委員】

質問1の回答で、資格取得の提案は取り消すとあるが、これは単純に提案金額から10万円を差し引くとの考え方で良いのか。

【吉田会長】

これは差し引いて良いと考える。それも含めて評価すれば良いのではないか。

他に意見はあるか。

(発言なし)

では、質問1の回答も含めて採点してほしい。

次に「春-5 御館リバーサイド環境美化事業」について意見を求める。

【金子委員】

質問2の回答にて、土砂上げ作業について、所有者は上越市とある。町内に市の公園がある場合、公園の草取り等、管理をすると市から補助金が出る。この事業に関して

も、何かしらの補助金が出ているのではないかと推測する。これに関しては説明がなかったが、もし補助金が出ているとなると、重複補助になるため、問題があるように思う。

【渋木副会長】

質問1の花の苗について、さくら工房等の障害者福祉施設等を利用すれば安く買えるはずだ。自分が参加している老人会でも利用しており、1株70円程度だ。100株購入する場合、1株30円も違うとなると大分金額が変わってくるのが気になる。回答では、最大限交渉の二者競争見積結果となっているが、実際、提案書には1者しか見積もりが提出されていない。実際のところどうなっているのかが気になる。

【吉田会長】

他に意見はあるか。

【鷺澤委員】

提案書には、「用水路」の土砂上げ作業となっているが、質問の回答では、春日山「調整池」の土砂上げ作業とある。用水路、側溝・下水溝の土砂上げ作業の費用と考えていたのだが、どうなのか。

【渋木副会長】

この調整池は、団地造成をする際に、雨水・生活排水を流すために一時的に貯める開放型のプールと考えてもらえばよい。当初はもう少し広がったのだが半分近く埋め立てをして町内会館を建設している。

【吉田会長】

他にあるか。

(発言なし)

次に、「春-6 春日山モルツ ミニバスケットボールクラブ事業」について意見を求める。

【今井委員】

先ほどの「春-4」の意見と同じようになってしまうのだが、遠征費の関係で、具体的な地名も出ており、今後も増えていくことが考えられる。

【吉田会長】

他にあるか。

(発言なし)

【吉田会長】

次に「春-7 春日山城跡保存整備推進協議会10周年記念事業」について意見を求める。

【今井委員】

記念誌事業の冊子の配布計画の資料については、補助金の注入の有無によってあつせんする部分と無償配布する部分を区別しているという説明をしたいためのものだと判断した。

【吉田会長】

実際、無償で配布する分と、安価であつせんする分とに分けて考えれば良いと思う。他にあるか。

【鷺澤委員】

質問には取り上げられなかったが、この団体は毎年度、春日山城跡に関わる道路整備費で100万円から200万円程度の補助を希望してきている。しかし、今まで整備を行ってきた道路を見てみると、「こんな場所を整備して良かったのか、今は草だらけだ」との意見をたくさん聞く。そのため、今回の提案にも大手道の整備があがっているが、提案どおりの内容で整備する必要があるのか、活動していく必要があるのか疑問に思う。

【大竹副会長】

大手道ではないが、以前に谷愛宕から千貫門せんがんもんの裏側に道を作ったが、それは良かったと感じている。それは千貫門の跡地が良く分かるようになったのと、春日山城への時間短縮につながった。本来の古道が開けてよかったと思っている。大手門は池から登って行く道であるが、それは歴史的書物に残っている道であるため、今後整備していく必要があると考える。

【吉田実委員】

今回、提案申請額が配分額に達していないため認められると考えるが、提案額が多く配分額を超過している場合は、このように額が嵩む事業は後回しにするべきだ。

【吉田会長】

藤田委員はよく春日山周辺を散策しているようだが、どのような声を聞いているのか。

【藤田委員】

普通に春日山神社まで登る場合、あまりまわり道はしない。他から参加している参加者に聞いても他の道を通ってきたとの意見はあまりない。そのため、歴史的な道を整備するにしても、何かしらの説明・案内等をする必要があると考える。

【吉田実委員】

大手道の存在価値自体は十分に認めている。春日山神社側からのぼって大手道からおりる道について、知っている人は活用もしている。しかし、実際のところ、地域活動支援事業から捻出することを疑問に感じている。

【金子委員】

春日山の草刈りが年に3回程度あり参加しているが、自分の担当区域は大井戸の辺りまでであるため一番頂上の辺りまでのぼる。柿崎屋敷側は比較的段差も少なく、また低いため登りやすい。しかし、春日山神社の北側の道は段差も高く、上り下りが非常に大変である。そのような道を修繕整備してほしいと考える。

【大竹副会長】

確かに道幅が狭く、観光客がすれ違うことも難しい。

【吉田実委員】

このような事業にはやはり国・県・市の予算を使うべきであると思う。今後、分科会で細かいところを掘り下げていければ良いと考える。

【吉田会長】

次に「春-8 春日区の交通安全のための交通安全推進活動並びに交差点関連路面標示修繕事業」について発言を求める。

【鷺澤委員】

プレゼンテーションでの回答が、平成29年度ベースと比較すると不可能と言わざるを得ないとの簡単なものであった。しかし、上越交通安全協会春日支部から提出された資料を見ると、会則、予算書等の詳細な資料を見る限りでは、不可能と言わざるを得ないと言では表しきれないと考えている。私の再質問を整理したものを作成したので、参考資料として活用してほしいが、配布してよいか。

【吉田会長】

配布することについて、他の委員はどう思うか。

【金子委員】

配布せず、口頭で説明すれば良い。

【田沢委員】

問題の趣旨がはっきりしていないので、何が問題で、どのような理由で資料を準備したか説明してほしい。

【鷺澤委員】

春日区の住民から任意で徴収している1世帯当たり500円の会費により、この事業が可能であると精査したが、できないという回答であったことが問題だ。参考にするかは各委員の判断に任せるが、ぜひ採点に活用してほしい。

【今井委員】

前回の地域協議会の際に鷺澤委員が再質問書として提出されたが、再質問をしなかった理由は、意見であったためである。あくまでも再質問の場であり、提案者に意見を伝える場ではなかったためである。本日は意見交換の場であるため、発言や資料の配布は自由であるが、採点の参考にするかは各委員に委ねたら良いのではないかと。

また個人的な意見としては、春日区では道路の白線の修繕・補修作業は地域活動支援事業費で賄っているが、上越市全体で見た際に、他区ではどのように行っているかが重要だ。先ほど話に出た、町内会の備品購入も同じことが言えるが、春日区では備品を購入しているが、他の地区ではダメと言った問題と同じである。今後の課題として上越市全体で地域活動支援事業の判断基準を統一すれば良いのであるが、現段階では各区の判断基準がバラバラであることが問題である。

今回の交通安全協会春日支部の件も、資料を配布するのであれば配布して、各自が持ち帰り、各自の判断基準で採点すれば良いのではないかと。

【吉田会長】

鷺澤委員から配布希望がある資料について、配布するか、口頭説明のみにするか、各委員の意見を求める。

【田沢委員】

各委員の判断に任せるという意味で資料を配布して良い。

【星野委員】

採点の参考にするため、配布し持ち帰りたい。

【吉田会長】

では、配布することとして良いか。

(「よし」の声)

では、配布するが、ポイントだけ説明願う。

【鷺澤委員】

自分が過去に交通安全協会春日支部の役員を務めていたこともあるため、活動内容の詳細は熟知しているつもりであるが、春日区の住民から任意で徴収している会費での事業運営が現状では可能と判断した。提案団体から提出された会則、予算書等の資料も含めて判断してほしい。しかし、配布した資料にも記載のとおり、交通安全協会春日支部の活動は、区民の安心安全に関わる重要事案であり、関係者の活動に敬意を表するものと記載している。つまり、地域住民から徴収した会費で足らなければ最優先で地域活動支援事業費を充てるべきと考えており、決して事業自体に反対している訳ではなく、現状では事業運営が可能と判断したということを理解してほしい。

【金子委員】

交通安全協会春日支部ではプレゼンテーションで説明した内容の活動を実施している。また、地域活動支援事業からの予算はすべて道路標示等に活用している。その他、カーブミラーや安全看板、また追加の道路標示の修繕等は会の運営費で補っているが、今年度は警察で修繕してくれる箇所が多かったため予算も抑えられている。

【吉田会長】

金子委員の意見も参考にしてほしい。

次に「春-9 新光町内活性化事業」について意見を求める。

【今井委員】

プレゼンテーションがなく文書回答のため、この回答を参考に判断するしかない。

【吉田会長】

次に「春-10 安全に安心して暮らせるまちづくり事業（防犯パトロール実施事業）」について意見を求める。

【金子委員】

最近、新潟市での女子児童殺人事件もあり、防犯パトロールが非常に大切であると感じ、春日小学校長からも、防犯パトロールは大切であり、ありがたいとの話があった。春日小学校の教員も、学区内をパトロールし危険箇所を確認しているとのことで、パトロールの大切さを再確認した。

また、のぼり旗を長持ちさせるためのに実験的に工夫しながら行っており、自分の町内でも上手くいけば実施したいと考えている。

【今井委員】

前回のプレゼンテーションでの回答の際、購入した備品の廃棄数や残数の回答があり、数を正確に把握していることは大変に良いことであると思った。数も多く、普通はうやむやになってしまう物をしっかりと管理しているということを受け止めるべきだと感じた。

【鷺澤委員】

本日、高志小学校長と教頭で話をした際に、最近児童が不審者に遭遇する機会が多いとの話があった。無断で写真を撮られたり、後を追いかける等の事例があるとのことで、非常にパトロールが大切であると感じた。しかし、春日謙信交流館を起点に月に1、2回、春日山町二・三丁目を巡回しているのだが、のぼり旗を立てている箇所もあるが、本数的に見ると設置箇所が少ないように思うため、設置を増やすべきだと感じた。

【星野委員】

自分が勤めている会社の近くにのぼり旗があるため、触ってみた。素材が化学繊維で、端を縫い合わせていないために、触ると端からボロボロとほつれてきた。謙信公祭等で使用しているのぼり旗はしっかりと端を縫い合わせているため、ほつれることはないと思うので、改良すれば更に長持ちすると考えている。

【金子委員】

安いものを使用し、ダメになったら交換する方が早いと言う考え方もある。現状では年2、3回は交換している。

【吉田会長】

他にあるか。

(発言なし)

次に「春-11 子ども行事（春祭り、夏祭り、餅つき大会）の支援事業」について意見を求める。

【今井委員】

質問1と質問3についてだが、こちらの質問に対して納得のいく内容の回答を貰えたと感じている。

【金子委員】

先ほど星野委員からも話が出たが、この提案内容はまさに町内会備品の購入だと思

う。

【吉田会長】

他にあるか。

（発言なし）

「春-12 小学生の音楽による地域の絆づくり支援事業」について意見を求める。

【大竹副会長】

昨年度も高志小学校に楽器購入支援を地域活動支援事業として行い、購入後に小学校に楽器のお披露目会を見に行った。子供たちは非常に喜んでおり、教員たちからも大変に感謝された。

【吉田実委員】

高志小学校は今回で3回目の提案、春日中学校は過去に1回で高額の事業提案があったが、なぜ春日小学校は事業提案が上がってこないのか疑問である。

【池杉委員】

詳しくは分からないが、春日小学校も楽器のレンタルをしていると思う。ただ、地元企業からの寄付金もあったため、地域活動支援事業への提案がないのかもしれない。

【松田委員】

補助はかなり昔であるため、楽器の傷みはあるはずだ。

【池杉委員】

詳細は不明であるが、後援会費の中からしっかりと支払われているようである。

【金子委員】

春日小学校にも後援会があり、町内会から年間20、30万円程度が支払われている。その中から、楽器の修繕費や児童の交通費が支払われており、PTA会費からも捻出され支援されている。高志小学校もそのようなシステムを取るのも一つの手段である。

【吉田実委員】

不公平がなければそれでいいと思う。

【吉田会長】

不公平とかではなく、児童・地域住民の数にも要因がある。

【大竹副会長】

学校内で楽器の購入・修繕等が困難な場合は、企業からの支援や後援会費等による支援を受けていけば良い。

【谷委員】

春日小学校は部活動ではなく、児童全員が金管楽器に取り組み、使用しているため、楽器の数が非常に多い。企業からの寄付金で購入した楽器も、現在はサビや腐食、塗装が剥げている楽器が多く見られる。それに、現在は昔のように企業から多額の寄付金を得ることは困難になっている。

【池杉委員】

地域活動支援事業を知らない、遠慮しているといったこともあると思う。企業からの寄付金があったと言っても毎年ではないし、先ほども話があったが、サッカーは支援せずバレーは支援するとか、高志小学校は支援して、春日小学校は支援しないではいかなものかを感じる部分もある。支援のバランスを考えたほうが良い。

【鷺澤委員】

地域活動支援事業への提案があれば、地域協議会の中で検討していけば良い。現段階では春日小学校からの提案がないため何とも言えない。

【池杉委員】

地域活動支援事業のそのものの存在や実績等をもっとPRすべきだと思う。

【吉田会長】

次に「春-13 高齢者の生きがづくりと地域交流事業」について意見を求める。

【渋谷副会長】

質問3の回答で、参加者は電話番号のみの受付のため不明、年齢を聞くことは失礼なため不明とあるが、事業名に「高齢者」と付いている以上、何かあった際に電話番号のみでは問題があるように感じる。何かあった際の対処法の説明は一切なかったため気になる。それで、参加者が固定されているのではないかと感じている。年中行事的に、この時期には小旅行があると言ったように、固定の参加者のみの参加になっているのではないかと思う。

【田沢委員】

事業として今後も開催していくのであれば、どのような効果があるのか、今後どのようにしていくのかを検討していく上で、年齢層や居住地等の情報は必要である。町名や年齢を聞くことは失礼とは思わないので、改善の余地はあると感じた。

【吉田会長】

同感であり、何かあった時に困る。担当者に意見することも良いと思うので、事務

局と相談していきたい。

次に「春-14 春日野トレイル（自転車コース）整備事業」について意見を求める。

【金子委員】

新しい事業とのことで、たまに現地に見学に行くと、小中高校生や大人が取り組んでおり、面白そうである。人を集める・集まって何かをするという意味では春日地区の活性化に繋がっているため良いと思う。

【谷委員】

自転車コースの前に自転車屋があり、昨年、春日小学校の総合学習の一環として、お店を見学し色々な話を聞いた。児童たちは、こんな近くにこんなところがあるんだと驚いており、児童・教員も存在を知ることが出来た。また見学に行きたいとの話も出ていた。

【松田委員】

山麓線沿いにあるお店の息子さんが、現在BMXのオリンピック強化選手になっており、先ほどのお店の息子さんも海外で活躍している。マイナーなスポーツと思われがちであるが、上越から優秀な選手も出ているため支援していきたい。

【吉田会長】

身近なところから始めていくべきだと感じる場所もある。

他にあるか。

（発言なし）

次に「春-15 土橋祭り活性化事業」について意見を求める。

【鷺澤委員】

各委員に確認したいのだが、質問1の回答で「神事に関わる事業」とある。神事とは神道、神社に関わる事業とのことから、町内会には認知されずに地域活動支援事業へ要望が出たのだが、そもそも地域活動支援事業の応募の手引きには、政治・宗教活動を目的とする事業については対象にならないとの明記がある。そのため、神事だと回答されてしまうと、地域協議会としては非常に判断が難しくなってくる。地域活性化としての提案であれば、他の団体のように太鼓の購入等は賛成できるが、神事とはっきり提案団体から言われている以上、地域協議会としてはどのように判断するべきか、皆さんの意見を聞きたい。

【今井委員】

これは、町内会側の言い分であり、実際、提案者は神事とはあまり考えておらず、そもそも、宗教もそれぞれ違うはずである。神事を理由に町内会から断られたため、地域活動支援事業でどうにかしてほしいという提案だと純粹に受け取れば良いと思う。

また、プレゼンテーションを聞いて感じたのが、町内会に1区・2区とあり、つまり、昔からの旧集落と新住民が住んでいるエリアを表しており、この町内はその分離とも言える部分に「風穴を開けたい」と発言し、意欲を感じた。まさにプレゼンテーションでしか聞くことが出来ない内容を聞くことが出来たと思った。人の動きが激しいと地域の繋がりはなくなってしまうため、提案団体の僅かな人数でそれを食い止めたいとの想いを感じた。以前から町内会の祭りはあったが1区の住民しか認識していないとも言っていたため、人と人を繋げたいのだと自分は受け取った。

【田沢委員】

自分も質問整理一覧の文面を見た時は戸惑った、通常であれば町内会が祭りを主導して行う訳であるが、もう一種の祭りをこの団体が行う場合、逆にバランスが難しいように感じる。地域活性化ではなく、地域を分離するような動きになっては困るのではないかと思う。

【渋谷副会長】

田沢委員と同じような意見ではあるが、現在、この町内会では春祭り、秋祭りを行っている。それを1区のみで行うとなればバランスが難しい。

また、質問の回答として、神事であるため予算捻出は難しいとあるが、実際、現在行っている春祭りや秋祭りをどのように受け止めているのかが気になる。

【谷委員】

提案書を見ると、大変に具体的な内容が記載されている。子供たちへの指導にも力を入れ、高志小学校や東本町小学校の2校に学区が分かれている複雑な町内を1つにまとめ活性化していきたいと、色々な団体の名前も挙がっている。1つにまとめたいという気持ちでの行事であれば適切なものであると考える。

【渋谷副会長】

提案書に記載の道具を一度に揃えるとなると、子供だけで40名以上の計算になる。必要ならば、一度に揃えるのではなく段階的に揃えていくことが望ましいと考える。

【鷺澤委員】

プレゼンテーションの際に、旧集落は20、30世帯で、新しい住民が約200世帯だとの

話があり、新土橋は今後も世帯数が増えていくと考えられる。提案団体がプレゼンテーションの際に、地域コミュニケーションを確立したいと話していたが、例えば、防犯・防災活動で地域コミュニケーションを確立した地域もあり、様々な方法が考えられるので可能な限り支援したいと思う。

【吉田会長】

他にあるか。

（発言なし）

次に「春-16 新光町バス停リニューアル事業」について意見を求める。

【今井委員】

質問2の回答に、掲示板を作成し、企業や店舗から協力金を募りたいとあった。また、地元の業者に頼んで極力安価で実施するともある。金銭面を考えることは大切なことであり、地域活動支援事業費補助金を貰えばなしにはせず、今後維持するための財源を確保していく努力も見え、しっかりとした仕組みが出来ていると感じた。

【田沢委員】

市内のバス停が老朽化等でみすばらしい形になっているところが多い中で、バス停のリニューアルを行うことはとても重要なことだ。実際に行動に移す地域が出てくるかは分からないが一つのきっかけになればよいと思う。

【今井委員】

以前、様々な地方の市役所に出向く仕事をしていたが、地方に行くと電車が走っていないところも多いため路線バスを利用して移動していた。

市役所から一番近いバス停を調べて利用する訳であるが、そのバス停の役割は大きく、自分のような営業マン等も利用する機会が多いため、実際バス停の印象は町全体のイメージに繋がることが多い。玄関口との意味合いもあると思うので、外向けの意識が大事である。

【金子委員】

節約してバス停をリニューアルするとの話であるが、節約せずにちゃんとしたバス停をつくれればよいと思う。

【大竹副会長】

附帯意見として、提案者に伝えることもありだと思う。

【松田委員】

春日区の地域活動支援事業を利用するので、春日区のカラーが出たバス停になれば良いと思う。

【池杉委員】

春日山の観光案内も兼ねた形で、春日区の玄関口との位置づけを期待したい。

【吉田会長】

他にあるか。

(発言なし)

次に「春-17 中門前2丁目自主防犯サポーターズ事業」について意見を求める。

【田沢委員】

以前から中門前一丁目と三丁目が先行していたが、二丁目では取り組みが遅くなった。数年前から事業の話は出ていたが、現在、徐々に形になってきたような状態である。

【今井委員】

プレゼンテーションの際、提案者がハキハキと受け答えしていたことが印象的に残っている。その発言の中で、中門前二丁目町内会に、もっと和気藹々とした雰囲気が必要なのに、現在は行事やイベントを行っても現役員と次年度の役員のみでの参加だと言っていた。前の提案にもあったが、参加者が決まってしまうと、硬い印象になっている町内の盛り返しとの意味合いもあると考えられる。プレゼンテーションでコミュニケーションの場をつくりたいと聞いたことが良かったと感じている。

【吉田会長】

町内会の細かいことは地域協議会としては触れなくて良いと思うが、意気込みを聞くことは別の問題と考える。

他にあるか。

(発言なし)

次に「春-18 にぎわいのあるまちづくり（春日地区の歴史文化に触れ合う）事業」について意見を求める。この提案事業は、毎年度問題視される点が多く見られる事業である。この提案事業に関わらず、事業ごとに過去を振り返ってみてほしい。各事業を知ることが近道と考える。

【吉田実委員】

提案書6ページの支出項目にあるふるまい費用に記載されているふるまい酒やスキ

一汁は有料で行うべきと考える。無料配布はいかがなものか。

【渋木副会長】

同じく支出項目の警備費が高いように思う。

【金子委員】

まだ3回目の事業であり、上越市内の住民にこのイベントの存在を知ってもらおうという意味合いで、2回目、3回目くらいは無料で実施しているのではないか。

【吉田会長】

先日、あらい道の駅でクラシックカーのイベントがあり、2万5,000人から3万人の来場があったと新聞に記載されていた。そこまでの集客がなくとも少しずつ集客を増やしていけるよう、イベントを盛り上げていければ良いと考える。

他にあるか。

(発言なし)

以上で、全ての提案事業の意見交換が終了したが、改めて意見したい事業はないか。

【鷺澤委員】

今年度は、地域活動支援事業の配分予算内の提案しか出てきていないが、あまり議論や審議をせずに全て採択し、補助希望額満額の交付とらないようにしたいと思う。地域協議会としては2つのことを確認し、審査するべきと考える。1つは「地域協議会は町内の利益代表ではない」という点。もう1つは「市の税金を取り扱っていることを踏まえて、具体的に審査する」ということである。そのため、たとえ地域活動支援事業費補助金の配分予算内であっても、減額する事業は減額するべきと考える。

【吉田会長】

他にあるか。

【池杉委員】

10万円未満の金額は2者以上の見積もりは不要とあるが、1件毎の見積もり額は10万円以下であっても事業全体の予算が10万円を超える場合、10万円以下の見積もり内容に疑問に思う点がある場合はどうするのか。例えば、ボール購入の見積もりが5,000円だがチームの人数的に個数の必要性が分からず、練習に必要と提案者に回答され、しかも、その見積もり業者が地元企業ではなく、他の市外の業者からの見積もりの場合などだ。先ほど鷺澤委員の話にもあったが、地域活動支援事業は税金であり、それを重点に置いて審査したいと考えている。また、募集要項にも「地元企業を利用する、

例外として、市内の企業・商店での取扱いがない場合のみ可」との記載があるが、地元を取扱い企業・商店があるのに、利用しない提案団体が多く見られる。事務局にも確認したいのだが春日区とまでは言わなくとも、上越市内の企業・店舗等を利用し、地域からのお金の流出を減らす、地元の経済を少しでも潤わせるとの考え方で地域活動支援事業を進めていけば良いと思う。だからと言って却下とは思わないが、今後、そのような考え方で提案団体にも呼びかけて進めていくべきと考える。

【吉田会長】

他にあるか。

(発言なし)

これで全ての意見交換が終了した。以上で議題2「(1) H30年度地域活動支援事業について」の「①委員同士による意見交換」を終了する。

次に議題3「その他 (1) 次回開催日の確認」の説明を事務局に求める。

【野口係長】

次回開催日の確認の前に、今ほど意見交換した内容に関して、事務局から2点補足がある。1点目は「春-5 御館リバーサイド環境美化事業」の調整池の泥上げについて、先ほど提案者に電話にて補助金の重複の有無を提案者に確認したところ、重複交付はないとの回答であった。

2点目に、池杉委員から指摘のあった見積先の業者の件は、本社がどこにあるのかになってくると思うのだが、市としては、事業所が上越市内にあるという点で線引きしている。基本的に事業所が上越市内であれば良しとしており、上越市内に取扱いのない物品に関しては、やむを得ず市外・県外からの調達を可としている。

- ・追加配布資料の説明
- ・次回の協議会：6月27日（水）午後6時から 上越市役所木田庁舎 402・403会議室
- ・追加募集について

【吉田会長】

今の事務局の説明に質問はあるか。

【今井委員】

事務局に確認であるが、先ほどの市内の事業所からの見積もりの件だが、提案団体がインターネットで購入した場合はどうなるのか。

【野口係長】

購入したい物品が上越市内にない場合はインターネットでの購入も可能である。提案書が提出された段階で、購入先の確認・指摘は事務局で行っている。池杉委員が指摘したように、基本的には上越市内の事業所からの購入に重点を置いている。

【今井委員】

また、2次募集について既に考えがまとまっている場合は、現時点で書類を提出しても良いか。

【野口係長】

よい。

【吉田会長】

他にあるか。

【藤田委員】

自分は地域活動支援事業に関わるのが初めてなのだが、今まで2次募集をしたことがあるのか。

【吉田実委員】

した年度もあるし、しなかった年度も両方ある。

【吉田会長】

各自、2次募集について個人の意見を記載して事務局に提出してほしい。また、会長として発言させていただくが、最近、地域協議会欠席者が毎回4名から5名ほどいる。これから審議案件も多く出てくると思うため多くの委員からの参加をお願いしたい。

最後に、議題3「(2) その他」に入る。何かあるか。

(発言なし)

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690 (直通)

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。